



南房総のハズシ

「生涯学習（しょうがいがくしゅう）」って何だろう？

皆さんは、「生涯学習（しょうがいがくしゅう）」と聞くと、どんなことをイメージしますか？※以下「生涯学習」と明記
 未だ新型コロナウイルス感染症拡大が心配される中、学校が再開し約1か月がたちました。文部科学省からは、あらゆる手段で、子どもたち誰一人取り残すことなく、最大限に学びの保障をしようと、『新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の「学びの保障」総合対策パッケージ』が示されました。国の意向に鑑み、全国の学校現場では、先生方が一丸となり、感染症対策を講じつつ、学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進めています。社会全体が、長期間にわたり、新型コロナウイルスとともに生きていかなければならない現状において、あらゆる角度から子どもたちの学びを支える手段を考えていく必要があります。

本号では「生涯学習」という視点から、あらためて「教育」について考えていきたいと思います。

「生涯学習」のイメージ図

【本記事の出典・参考書】

生涯学習・社会教育行政必携
 生涯学習概論ハンドブック他

生涯学習

= 「学ぶ者」に着目した概念

教育による学習

= 「教える者」と「学ぶ者」による行為

学校教育による学習

幼・小・中・高・大・専修等
 社会人の大学院入学

家庭教育による学習

社会教育による学習

= 学校・家庭以外の広く社会における教育

- ・国や地方公共団体や公民館等が行う講座
- ・大学や短大等の学校が行う公開講座
- ・青少年団体等が行う青少年教育
- ・民間教育事業者の行う通信教育やカルチャースクール等

自己学習

= 「学ぶ者」のみによる行為

・読書等の自主学習

経験を通した
 無意識の学び

「生涯学習」は、わたしたちが生涯にわたって行う学習活動です。わたしたちは、家庭教育をはじめとし、学校教育や社会教育を通して、「教える者」とされる人々から教育を受け様々なことを学び、社会へと出ていきます。大人になってからも職場の研修や地域での活動等、学ぶ機会はたくさんあります。裏面で更に詳しく「教育」について考えていきましょう。



教育による学習は「教える者」と「学ぶ者」による行為で成り立ちます。そして「教育」は、学校教育・家庭教育・社会教育の3つに分類できます。学校教育では、先生と児童・生徒、家庭教育では、保護者と子どものように「教える者」と「学ぶ者」を捉えることができます。社会教育は範囲が広がります。例えば、公民館で開催されている『ふるさと歴史講座』では、地域の歴史に詳しい指導者と受講者、子ども会やお祭り等では、地域行事を運営する人と地域行事に参加したい人、スポーツ少年団等では、監督やコーチと子ども等々、様々な立場や年齢の人が「教える者」又は「学ぶ者」となり行われるのが社会教育です。

これに対して、「学ぶ者」のみによる行為で成り立つのが、自己学習です。主に読書活動等があげられます。「教える者」がいない状況で行われる全ての活動がわたしたちにとっての自己学習と考えることができます。つまり「柱の角に足をぶつけたから、今度から気を付けよう。」のように経験を通した無意識の学びも自己学習と捉えることができます。

社会全体が、長期間にわたり、新型コロナウイルスとともに生きていかなければならない現状において、子どもたちの学びを支えていくためには、「教育」はとても大切です。学校教育や家庭教育はもちろん、社会教育も選択肢の一つと捉えてみてはいかがでしょうか。

どこで学べばいいの？



- ・生涯学習センター等(生涯学習を総合的に支える場所です。)
- ・公民館・コミュニティーセンター等(生涯学習をすすめるうえで、もっとも身近な場所です。)
- ・図書館・図書室等(本や雑誌で学習することができる場所です。)
- ・博物館・美術館等(実物をみたり、触ったりしながら学習できる場所です。)
- ・文化センター・文化会館等(地域の文化活動を奨励・援助する場所です。)
- ・スポーツ施設・野外活動施設等(運動をしたり、体験活動をしたりすることができる場所です。)
- ・少年自然の家・青年の家等(団体生活を通して多様な活動ができる場所です。)
- ・大学・短期大学・専修学校等(専門的な知識や技術を身につけることができる場所です。)
- ・放送大学等(テレビやラジオを通して、学ぶ機会を提供する場所です。)
- ・民間のカルチャーセンター等(人々のニーズにこたえた学習機会を提供する場所です。)

楽しい風、生涯学習。



生涯学習マスコット
「マナビィ」

故石ノ森章太郎氏デザインの生涯学習マスコットです。「学び」とミツバチの「Bee」を合せて「マナビィ」と名づけられました。学ぶことが好きな「マナビィ」には「学」という字のように触角が3本あります。

「生涯学習」の合言葉

Whenever いつでも Wherever どこでも
Whoever だれでも Whatever なんでも

(文責：学校・家庭・地域連携班)